みみより 63

発行日/2022 年 10 月 25 日
編集・発行/堺市立健康福祉プラザ
視覚・聴覚障害者センター
聴覚障害者情報提供施設

〒590-0808　堺区旭ヶ丘中町4－3－1
Tel:072-275-5024　Fax:072-243-2222
Mail:mimi@sakai-kfp.info

ごあいさつ

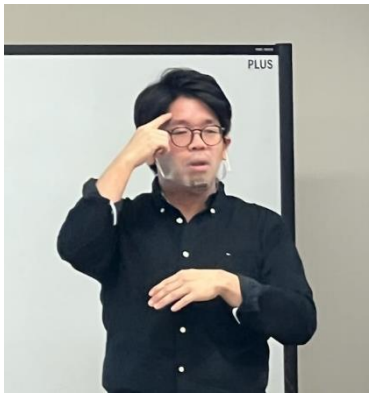
岩本　重雄

日中のぽかぽかとしたお日さまがより暖かく感じられる程の、朝晩の冷え込み。晩秋の気配が深まる頃となりました。読書の秋、スポーツの秋など秋を表す言葉はいくつかありますが、私は「食欲の秋」が一番です。温かい食べ物がとても美味しく感じます。特に味噌汁はきのこや茄子、サツマイモなどなど格別です。栗拾いやぶとう狩り、きのこ狩りといった秋の味覚を楽しめるイベントに参加する方も多いでしょう。

さて、2022 年の日本プロ野球、ヤクルトスワローズの村上宗隆選手が、打率・本塁打・打点の「三冠王」に輝きました。22 歳の三冠王は最年少であり、史上 8 人目です。それだけでなく、10 月 3 日のＤｅＮＡ戦にて、第 4 打席目で 56 号となる本塁打を放ちました。この本塁打は、1964(昭和39)年の王 貞治さん(巨人)を超える歴代 2 位の記録です。チームのリーグ２連覇(優勝)にも大きく貢献しました。このような記録は、野球好きな私にとっては鳥肌がたつほど感動するものです。歴史を塗りかえる瞬間を見られるのは、あと何回でしょう。村上選手は「村神様」と名付けられ、多くの国民に勇気とパワーを与えました。私もパワーをもらいました。ありがとう！

開催事業報告

《みみサロン》



9 月 17 日(土)のみみサロンは会場とオンラインの「ハイブリッド型」で開催。笠井 賢一郎さんをお呼びしました。「自分の名前の漢字に『賢』が入っているけど『頭がいい人』ではありません」と自己紹介されたり、ご自身の職業である薬剤師を手話で「ヤクザ医師」と表現されたりと、ユーモアあふれる内容も多くあり、会場を何度も笑わせてくださいました。

笠井さんはブラックジャックを愛読し、医師を志すことも考えたそうですが、医師のテキストなどを見て“自分には難しい”と、「薬剤師」になると決意されたとのことです。ご自身の生い立ちのお話では、聞こえない子どもたちのフリースクールにも入会したことで手話にも出会い、その企画での山登りで最後尾となり、大変だったけどみんなに励ましてもらいながら達成できたという話もしてくださいました。そして、自分を育ててくれた「手話」を使う環境への恩返しとして手話 café&BAR『Knot(ノット)』を立ち上げ、運営されています。そのかたわら、そのフリースクールを通じて、聞こえない子どもの学習塾の室長もされています。※薬剤師は最近退職されたそうです。

今回のみみサロンでのテーマは「ひと　と　ひとが手話でつながる場をつくる」と笠井さんが題し、手話 café&BAR の運営責任者としてのお話が大半でした。たくさんのスライドを使用され、聞こえない人たちがわかりやすいようにゆっくりとお話くださいました。会場で参加いただいた方とのやり取りも丁寧にされていました。

講演の中では「デジタル」・「アナログ」の言葉がよく使われ、手話表現においても「デジタル」は“直接”、「アナログ」は“幅広い”といった表現にこだわりを持たれていました。今はコロナウイルスの影響もあり、デジタル化で、オンラインやＳＮＳ（ソーシャルネットサイト）など情報がつかみやすい反面、個々としてデジタルを使われる目的が決まっていたり、可能性や用途が狭まることがあること。デジタルの反対である「アナログ」では幅広く自由度も高いといったお話をされていました。笠井さんのお話をもっと皆さんにも詳しくご紹介したいところですが、奥深い話もあり、人によっては捉え方や価値観が変わるものと思いますので、続きはセンターで収録したのをＤＶＤにして貸出をする予定がありますので、興味がある方はぜひご覧ください。興味深いお話をしてくださった笠井さま、遠くからありがとうございました♪

そして、今回ハイブリッド型で会場だけではなく、オンラインでの視聴ができるように準備しましたが、通信が途中で切れてしまい、参加いただいたみなさまに多大なご迷惑をおかけしたことを、この場をお借りしてお詫び申し上げます。オンラインで参加いただいた方には、ユーチューブ限定公開として、続きを視聴できるよう、ＵＲＬを個別にお送りしております。聞こえない人たちには対面で会うことを好まれることが多く「アナログ」な方が多いと思いますが、センターとしては現在のコロナウイルスによる新しい生活様式でもあるオンライン（デジタル）にも早く慣れていけるよう、頑張っていきますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

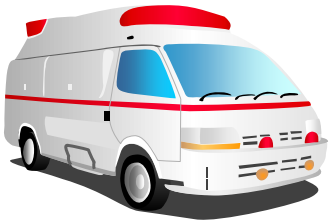
《もじサロン（筆談会）》

8 月 4 日（木）、9 月 15 日（木）、それぞれ 1 名にご参加いただきました。「もじサロン（筆談会）」は 1 名でも開催しますので、遠慮なくお申し込みください。今後の予定は下記の通りです。

筆談会：11 月 10 日（木）・1 月 12 日（木）・2 月 16 日（木）・3 月 16 日（木） 14:00～16:00

わいわいおしゃべり会：12 月 15 日（木） 13:30～15:30　要約筆記を使ってのおしゃべり会です。

救急搬送時の手話通訳・要約筆記派遣



聞こえない・聞こえにくい方が救急の通報をする方法としては、Net119、FAX119、メール 119、電話リレーサービスがあります。どの方法であっても視覚・聴覚障害者センターが開所しているときはもちろん、夜間やセンター休館時でも手話通訳・要約筆記の派遣依頼は可能です。通報のとき、または救急隊員が到着したときに「**通訳が必要**」と伝えてください。

夜間・センター休館時の派遣は、現在、高石市・大阪狭山市と共同で行っています。堺市内の 27 の救急指定病院のほか、高石市 3 病院、大阪狭山市 5 病院に対応しています。高石市、大阪狭山市内の病院については、それぞれの市の登録者が派遣されます。

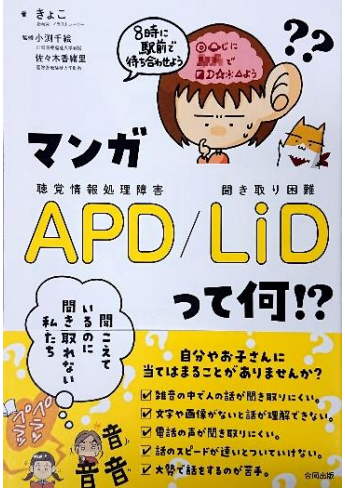
夜間・センター休館日に自力で病院に行かれる場合、上記の救急指定病院であれば、病院から派遣窓口に連絡してもらえます。安心して医療を受けられるよう、「手話通訳が必要」、「要約筆記が必要」、「筆談で伝えてほしい」など、ご自身が必要なサポートを救急隊や病院スタッフに伝えてください。また、Net119 の練習をしたい方、FAX119 の専用用紙が欲しい方は、お気軽にセンターにお越しください。

「生活音の見える化」アプリ

Sound Display(サウンドディスプレイ)は、身の回りの音を認識して、ユーザーに通知してくれるスマートフォンアプリです。例えば、「自宅のドアフォンなどの音が鳴ったことに気づき、来客や宅配を待たせないようにしたい」「火災報知器が鳴ったことに気づき危険から身を守りたい」といったことを暮らしの中で感じておられる方もいらっしゃるでしょう。Sound Display を起動しておくと、音が鳴ったことをアプリが認識して振動と文字で通知してくれます。

12月3日(土)の障害者週間フェスティバルに、このアプリを開発された企業さんが来てくださいます。興味のある方は、ぜひ、お越しください。

図書の寄贈がありました



前号でご紹介しました「聴覚情報処理障害/聞き取り困難」を紹介したマンガを寄贈いただきました。「聞こえているのに聞き取れない」ＡＰＤ/Ｌｉ Ｄの特性のほか、当事者の方々の生活の工夫などがわかりやすく紹介されています。ビデオライブラリーのお部屋で読んでいただけます。どうぞご利用ください。

ＡＰＤ/Ｌｉ Ｄでは、ＦＭ補聴機器等を活用することで聞き取りが改善することがあります。センターにもお試しいただける機器をいくつか用意していますのでご相談ください。※ 必ず事前予約をお願いします。

手話言語の国際デー」ブルーライトアップ

毎年 9 月 23 日は「手話言語の国際デー」です。今年は世界ろう連盟が「手話言語にブルーライトを当てよう」と呼びかけ、全国各地でイベントが開催されました。堺市でも堺市ろうあ者福祉協会さんがイベントを開催。「手話言語」についての講演のほか、手話歌や絵本の読みきかせを楽しみました。また、初心者の方はミニ手話教室で挨拶の手話などを学び、経験のある方は交流会でおしゃべりしました。日没前に西日がライトアップ予定の壁に当たり、「ブルーになるのか!?」とドキドキしましたが、会長さんの合図の元、無事、堺市立健康福祉プラザがブルーに染まりました。

手話奉仕員・通訳者養成講座

統一試験合格をめざして！

手話通訳者養成講座の実践課程にて、9 月より試験対策講座が始まりました。今年度も予定通り 12 月に全国手話通訳者統一試験が実施されます。受験者は技術演習、筆記試験の学習に奮闘中。市民向け手話講座及び養成講座各課程も順調に進んでいます。

要約筆記者養成講座

日本語や福祉の知識も！

8 月・9 月は座学が中心でした。要約筆記は「話しことば」を「書きことば」に変換するため、その違いや要約技術を学んだほか、憲法、国内の福祉関連法、国連障害者権利条約などを通して人権や権利擁護の学びを深めました。

センターの行事

１１月１１日(金)　13:30～16:30
「補聴器相談」　※要事前予約

１１月１０日(木)　14:00～16:00
「もじサロン(筆談会)」　※要事前申込

１１月１９日(土)　14:00～16:00
「みみサロン」　※要事前申込
テーマ：SDGs について

１１月２６日(土)　13:00～15:30
堺市手話言語・障害者のコミュニケーション条例イベント「見る・聞く・感じるコミュニケーション」※要事前申込

１２月　９日(金)　13:30～16:30
「補聴器相談」　※要事前予約

１２月１５日(木)　13:30～15:30
「もじサロン～わいわいおしゃべり会」
※要事前申込

１２月３日(土)に「障害者週間」フェスティバルを開催します。

各行事について、検温と手指のアルコール消毒にご協力ください。
新型コロナウイルスの感染状況により、オンライン開催、または中止になることがあります。

ビデオライブラリーのおすすめ

ハートネットTV「新型コロナどう守る？障害者の暮らし」

猛威を振るった新型コロナウイルス。感染の広がりが障害のある人たちの暮らしに大きな影響を及ぼしています。障害者施設ならではの課題とは？障害特性を理解した上での感染対策は？など、障害者福祉の専門家を交えて、障害のある人たちの暮らしをいかに守っていけばよいかを考えます。

ろうを生きる難聴を生きる
「新型コロナウイルス　～ろう者・難聴者は今～」

新型コロナウイルスにより、ろう・難聴者の生活にも大きな影響が出ています。マスク生活によりコミュニケーションがとりづらくなったり、ろう学校が休校となり手話で話ができる場がなくなったりと、その影響は大きい。番組ではろう・難聴者の現状を伝え、今できること、今後の対策などを伝えています。

頑張っています 手話通訳・要約筆記登録者

実施済
- 要約筆記者実技研修(手書)　9/3
- 要約筆記者実技研修(PC)　9/24・10/15
- 手話通訳者実技研修　9/27・10/25
- 登録者合同研修　10/13

- 手話通訳者研修「対人援助」　11/5
- 登録者合同研修
  「新聞記者が教える伝わる表現力講座」　12/17

事業状況

		手話通訳		要約筆記		ライブラリー	
		個人	講演	個人	講演	利用者数	貸出数
8月	派遣数	２００件	１１件	３３件	３件	８人	３３本
	派遣人数	２１０人	２３人	３８人	１２人	新規登録者：０人	
9月	派遣数	２０３件	１２件	３０件	５件	８人	３９本
	派遣人数	２１３人	２８人	３５人	１７人	新規登録者：２人	